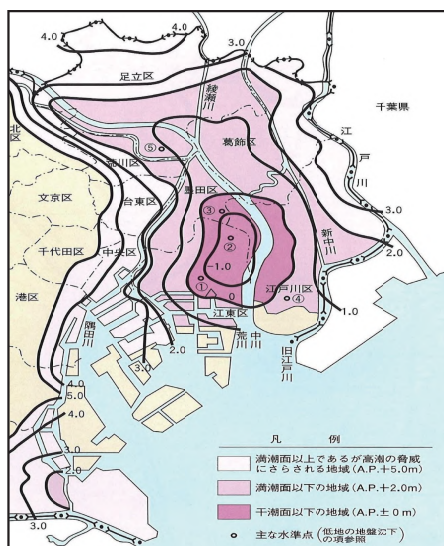


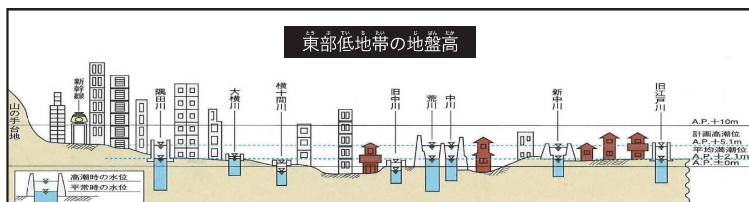
水害のない町に 清澄排水機場 東京都江東治水事務所

東部低地帯



※A.P.(Arakawa Peil)とは荒川工事基準面のことで、標高 (T.P.)0m のとき、A.P.+1.134m となります。

隅田川と荒川に挟まれた江東三角地帯は、ゼロメートル地帯といわれ、満潮時には大部分が水面下となり、過去にたびたび大水害に見舞われてきました。堤防・水門・排水機場は、高潮や洪水、津波などの水害から、この地域の安全を守る働きをしています。

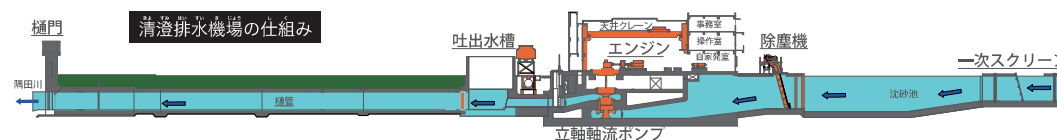


清澄排水機場

清澄排水機場は、隅田川と仙台東川が交差する地点に設置されています。台風などにより高潮や津波が発生した時は、東部低地帯を守る竪川水門・新小名木川水門・大島川水門を閉鎖しますが、内部河川 (竪川、小名木川、仙台東川など) の水位が上昇するため、内部河川の水を隅田川に排水し、氾濫から地域を守る防災施設としての役割を果たしています。令和元年5月に耐震・耐水対策工事が完了しました。



施設名	清澄排水機場
所在地	江東区清澄一丁目2番37号先
口径	2,600mm×3台
排水能力	48 m³/秒 ※25m プールを約10秒で排水できる能力
原動機	エンジン 810kW×3台
非常用発電機	400kVA×2台
完成	昭和61年度 (1986年度) 改修 令和元年5月



平成29年 台風21号清洲橋下流左岸の写真

平成29年10月23日



平常時

